

音楽芸術研究科【修士課程】入試説明会

令和7年7月25日（金）

沖縄県立芸術大学



令和 8 年度 音楽芸術研究科 入試説明会資料目次

No.	内 容	ページ
1	研究科長のあいさつ	阿部研究科長
2	入試概要について	P 3 ～ 8
3	カリキュラムについて	P 9 ～15
4	修士演奏、副論文、口頭試問について	P 16～18
5	学費・奨学金制度等の紹介	P 19～24
6	長期履修制度について	P 25
7	質疑応答	
8	各専攻毎の入試説明・相談会	

2 入試概要について

募集人員

専攻	専修	募集人員
舞台芸術専攻	琉球古典音楽専修 琉球舞踊組踊専修	4
演奏芸術専攻	声楽専修 ピアノ専修 管弦打楽専修	8
音楽学専攻	音楽学専修 作曲専修	3

日程

- 1 出願期間 令和7年9月19日(金)～9月29日(月)
- 2 試験日程 令和7年10月25日(土)～10月26日(日)
 ※集合時間・試験会場等の詳細情報は、10月24日(金)午後4時に
 ウェブサイト及び管理棟前掲示板に掲示するので必ず確認すること。
- 3 合格発表 令和7年10月28日(火) 午前10時
- 4 入学手続 令和7年10月30日(木)～11月4日(火)

試験科目

専攻／専修		専門試験	基礎能力	語学	面接
舞台 芸術 専攻	琉球古典音楽専修	実技試験	琉球芸能史	琉球古典語 (辞書持込不可)	面接 (研究計画書 持込可)
	琉球舞踊組踊専修				
演奏 芸術 専攻	声楽専修		1 和声 2 西洋音楽史	英語 独語 仏語 伊語 1 科目選択 (辞書持込可)	
	ピアノ専修				
	管弦打楽専修				
音楽 学専 攻	音楽学専修	口述試験	音楽・芸能の 歴史と理論	英語 (辞書持込可)	
	作曲専修	口述試験	西洋音楽史	演奏芸術専攻に 同じ	

◇ 基礎能力試験については、過去問題を参考に学習してください。

配点

専攻／専修		総点	配点比			
			専門試験	基礎能力	語学	面接
舞台芸術専攻	琉球古典音楽専修	100	80	15		5
	琉球舞踊組踊専修					
演奏芸術専攻	声楽専修					
	ピアノ専修		60	20	20	
	管弦打楽専修					
音楽学専攻	音楽学専修	100	60	20	20	
	作曲専修		80	20		

研究計画書

研究計画書 (舞台芸術専攻・演奏芸術専攻・音楽学専攻作曲専修)

* 太枠のみ記入すること。

受験番号		専修	氏 名	
1. 研究テーマ及び概要 入学後の研究テーマと目的、およびその設定理由について、記してください。				
【研究テーマ】				
【研究の目的】				
【研究テーマ設定の理由 (実技と研究のそれぞれについて具体的に言及すること)】				

(1/2)

研究計画書 (つづき)

2. 研究の計画 研究対象とする作品をあげて、2年間の具体的な研究方法を年次に分けて記してください。 なお、長期履修制度*での履修を希望する場合は、【2年次】の枠内で適宜記載してください。
【1年次】
【2年次】

* 長期履修制度については、P.15を参照のこと。

(2/2)

研究計画書 (音楽学専攻音楽学専修)

*太枠のみ記入すること。

受験番号		氏 名	
1. 研究題目			
2. 研究テーマの選択に至る経緯 (500～600 字程度) この研究テーマを選んだ動機、このテーマに関するこれまでの学習の概要、参照した文献や調査した資料などについて、詳しく述べなさい。			

(1/2)

研究計画書 (つづき)

3. 学習と研究の計画 (800～900 字程度)

修士課程において、何について学習し、何をどのように研究したいか、目的と方法について、計画を述べなさい。

3. 学習と研究の計画 (800～900 字程度) 修士課程において、何について学習し、何をどのように研究したいか、目的と方法について、計画を述べなさい。

(2/2)

3 カリキュラムについて

■別表2（第4条関係）専攻別教育課程表

舞台芸術専攻 琉球古典音楽専修

履修案内P64

履修区分	授業科目名		授業区分	1 年次		2 年次		修得単位数	
				前期	後期	前期	後期	小計	合計
必修科目	琉球古典音楽研究Ⅰ	★	実技	8				18	30
	琉球古典音楽研究Ⅱ	★	実技			8			
	課題演習	☆	演習			2			
選択必修科目	創作演習		演習	2				8	
	琉球音楽論研究		講義	4					
	琉球楽劇論研究	☆	講義	4					
	論文作成法		講義	2					
選択科目	能楽研究		講義	2（前期）				4	
	日本音楽史研究	★	講義	4					
	民俗芸能論研究		講義	4					
	アートマネジメント演習		演習	2					
	民族音楽学研究		講義	4					
自由科目	声楽実技演習	★	実技	2					
	器楽実技演習	★	実技	2					
	学部開設科目			～6					

舞台芸術専攻 琉球舞踊組踊専修

履修案内P64

履修区分	授業科目名		授業区分	1 年次		2 年次		修得単位数	
				前期	後期	前期	後期	小計	合計
必修科目	琉球舞踊組踊研究Ⅰ	★	実技	8				18	30
	琉球舞踊組踊研究Ⅱ	★	実技			8			
	課題演習	☆	演習			2			
選択必修科目	舞踊組踊創作演習		演習	2				8	
	琉球舞踊論研究		講義	4					
	琉球楽劇論研究	☆	講義	4					
	論文作成法		講義	2					
選択科目	能楽研究		講義	2（前期）				4	
	民俗芸能論研究	★	講義	4					
	アートマネジメント演習		演習	2					
	民族舞踊学研究		講義	4					
自由科目	声楽実技演習	★	実技	2					
	器楽実技演習	★	実技	2					
	学部開設科目			～6					

演奏芸術専攻 声楽専修

履修案内P65

履修区分	授業科目名		授業区分	1年次		2年次		修得単位数	
				前期	後期	前期	後期	小計	合計
必修科目	声楽研究Ⅰ	☆	実技	4				20	30
	声楽研究Ⅱ	☆	実技			6			
	オペラ総合実習A-Ⅰ	☆	実技	3					
	オペラ総合実習A-Ⅱ	☆	実技			3			
	協奏曲研究	★	実技	2					
	課題演習	★	演習			2			
選択必修科目	西洋音楽史研究	☆	講義	4				4	
	楽曲分析研究	☆	講義		2				
	論文作成法		講義	2					
選択科目	声楽特殊研究A	☆	実技	2（前期）				6	
	声楽特殊研究B	☆	実技	2（前期）					
	アートマネジメント演習		演習	2					
	コンピュータ音楽応用研究		演習	2					
	楽曲構造特殊研究		講義	2（前期）					
	音楽様式論		講義	4					
	音楽学特殊研究A		講義	2（後期）					
	音楽学特殊研究B		講義	2（前期）					
自由科目	学部開設科目		～4						

演奏芸術専攻 ピアノ専修

履修案内P65

履修区分	授業科目名		授業区分	1 年次		2 年次		修得単位数	
				前期	後期	前期	後期	小計	合計
必修科目	ピアノ研究Ⅰ	☆	実技	6				18	30
	ピアノ研究Ⅱ	☆	実技			8			
	協奏曲研究	★	実技	2					
	課題演習	★	演習			2			
選択必修科目	西洋音楽史研究	☆	講義	4				4	
	楽曲分析研究	☆	講義		2				
	論文作成法		講義	2					
選択科目	ピアノ特殊研究	☆	講・実	2				8	
	声楽曲伴奏法	☆	実技	2					
	室内楽実習Ⅰ	☆	実技	2					
	アートマネジメント演習		演習	2					
	コンピュータ音楽応用研究		演習	2					
	楽曲構造特殊研究		講義	2（前期）					
	音楽様式論		講義	4					
	音楽学特殊研究 A		講義	2（後期）					
	音楽学特殊研究 B		講義	2（前期）					
	自由科目	学部開設科目				～ 4			

演奏芸術専攻 管弦打楽専修

履修案内P66

履修区分	授業科目名		授業区分	1 年次		2 年次		修得単位数	
				前期	後期	前期	後期	小計	合計
必修科目	管弦打楽研究Ⅰ	☆	実技	6				20	30
	管弦打楽研究Ⅱ	☆	実技			6			
	オーケストラ研究Ⅰ	☆	実技	2					
	オーケストラ研究Ⅱ	☆	実技			2			
	協奏曲研究	★	実技	2					
	課題演習	★	演習			2			
選択必修科目	西洋音楽史研究	☆	講義			4		4	
	楽曲分析研究	☆	講義		2				
	論文作成法		講義	2					
選択科目	管弦打楽特殊研究	☆	講・実			2		6	
	室内楽実習Ⅰ	☆	実技	2					
	室内楽実習Ⅱ		実技			2			
	コンピュータ音楽応用研究		演習	2					
	楽曲構造特殊研究		講義			2（前期）			
	アートマネジメント演習		演習			2			
	音楽様式論		講義			4			
	音楽学特殊研究 A		講義			2（後期）			
	音楽学特殊研究 B		講義			2（前期）			
自由科目	学部開設科目					～ 4			

音楽学専攻 音楽学専修

履修案内P67

履修区分	授業科目名		授業区分	1 年次		2 年次		修得単位数		
				前期	後期	前期	後期	小計	合計	
必修科目	演習Ⅰ	☆	演習	6				16	30	
	演習Ⅱ	☆	演習			6				
	原典講読	☆	講義			4				
選択必修科目	民族音楽学研究	☆	講義			4		4～8		
	琉球音楽論研究		講義			4				
	民族舞踊学研究	☆	講義			4				
	民俗芸能論研究	☆	講義			4				
	西洋音楽史研究	☆	講義			4				
	日本音楽史研究	☆	講義			4				
	課題研究		講義	2・2（前期・後期）						
	音楽様式論		講義			4				
	音楽学特殊研究 A		講義	2（後期）						
音楽学特殊研究 B		講義	2（前期）							
選択科目	琉球楽劇論研究		講義			4		6～10		
	琉球舞踊論研究		講義			4				
	能楽研究		講義	2（前期）						
	アートマネジメント演習		演習	2						
	楽曲分析研究		講義		2					
	コンピュータ音楽応用研究		演習	2						
	楽曲構造特殊研究		講義	2（前期）						
	他研究科開設科目									
	自由科目	声楽実技演習	★	実技	2					
		器楽実技演習	★	実技	2					
		学部開設科目			～4					

音楽学専攻 作曲専修

履修案内P67

履修区分	授業科目名		授業区分	1 年次		2 年次		修得単位数	
				前期	後期	前期	後期	小計	合計
必修科目	作曲実習Ⅰ	☆	実技	6				18	30
	作曲実習Ⅱ	☆	実技			6			
	作曲演習Ⅰ	☆	演習	2					
	作曲演習Ⅱ	☆	演習			2			
	課題演習	☆	演習			2			
選択必修科目	西洋音楽史研究	☆	講義	4				4	
	楽曲分析研究	☆	講義		2				
	論文作成法		講義	2					
選択科目	専門関連実技演習Ⅰ	☆	実技	2				8	
	専門関連実技演習Ⅱ	☆	実技			2			
	コンピュータ音楽応用研究		演習	2					
	楽曲構造特殊研究	☆	講義	2（前期）					
	音楽様式論		講義	4					
	音楽学特殊研究 A		講義	2（後期）					
	音楽学特殊研究 B		講義	2（前期）					
自由科目	学部開設科目			～ 4					

4 修士演奏、副論文、口頭試問について

専攻／専修		修士論文等の課題
舞台芸術専攻	琉球古典音楽専修	修士演奏及び副論文
	琉球舞踊組踊専修	
演奏芸術専攻	声楽専修	
	ピアノ専修	
	管弦打楽専修	
音楽学専攻	音楽学専修	修士論文
	作曲専修	修士作品及び副論文

副論文について

- 1 対象学生 舞台芸術専攻学生
 演奏芸術専攻学生
 音楽学専攻作曲専修学生

- 2 副論文提出までの流れと指導体制
 - 1年次**： 「論文作成法」等を履修
 - 2年次**： 専門実技の指導教員と課題演習の担当教員、そのほか研究テーマに関係する教員など複数の教員で指導する。

3 副論文提出と口頭試問

副論文の提出は通常11月末。

翌1～2月にかけての修士演奏終了後に、口頭試問を実施する。

口頭試問は、副論文作成によって得られた成果と修士演奏との関連等を含んだ試問となっている。

4 評価

修士演奏、修士論文等は修士演奏、副論文及び口頭試問を総合的に評価し、主査と副査の合議によって合否を決定する。

5-1 学費について

授業料

年額： 535,800円

入学料

県内居住者： 282,000円

その他の者： 512,000円

入学考査料 30,000円

5-2 奨学金について

▶ 経済的理由により修学に困難がある者かつ優秀な学生に対し、学資として貸与等がされるものです。

- 1 独立行政法人 日本学生支援機構奨学金(貸与)
- 2 財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金(貸与)
- 3 沖縄県立芸術大学芸術振興財団奨学金(給付)
- 4 市町村及び各種団体奨学金

1 独立行政法人 日本学生支援機構奨学金(貸与)

第一種奨学金： 修士課程・・・月額 5万円、8万8千円から選択
博士課程・・・月額 8万円、12万2千円から選択

※無利子

注) 第一種は月額2種類から選択。在学中に家計が急変し上記月額以上の大幅な増額を希望する場合は、第二種の申込が新たに必要。

授業料後払い制度： ○授業料支援金・・・年間 535,800円貸与
学校の口座に機構から振込
○生活費奨学金・・・月額 0円、2万円、4万円から選択
(生活費奨学金のみの申込不可)

※無利子

注) 修士課程のみ利用可。第1種奨学金との併用不可。

第二種奨学金： 月額 5万円、8万円、10万円、13万円、15万円 から選択

※有利子

↑ 年・3%が上限

〈その他〉入学時特別増額貸与

※有利子

▶ 10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から選択

- * **1年次のみ**、初回振込時又は支援機構の定める月に受けることができます。
- * 入学時特別増額貸与のみ受けることはできません。所定の要件を、満たす必要があります。

令和8年4月に本学修士課程に進学を希望する者で、奨学金を希望する者は、日本学生支援機構奨学金の予約採用申込が可能です。

- * 入学が内定していなくても応募可能です。
- * 予約採用にもれた場合でも、入学後の定期採用に申し込むことは可能です。
- * 募集要項配布：9月初旬（予定）

《特に優れた業績による返還免除》

- * 第一種奨学金もしくは授業料後払い制度の学生が対象
- * 在学中に「特に優れた業績をあげたもの」に対して、返還を免除する制度です。
学内選考委員会において、申請された業績や成績などを総合的に評価して選考を行い、支援機構から示された推薦枠の範囲内で返還免除候補者として支援機構に推薦します。
さらに、支援機構で審査が行われ、認められた場合に奨学金の全額又は一部が免除されます。
- * 募集要項配布：12月頃（予定）

2 財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金(貸与)

※無利子貸与

- ・ **沖縄県に住所を有する者**の子弟で、学業、人物ともに優秀でかつ健康であり、学資の支弁が困難なもの。
- ・ 他から奨学金の貸与を受けていないもの。

3 沖縄県立芸術大学芸術振興財団奨学金(給付)

沖縄県立芸術大学に在学する学生対象。例年7月に募集。

- ・ 他から奨学金の貸与又は給付を受けていないもの。

4 市町村及び各種団体奨学金

各市町村育英会、または育英法人等からの募集については、学生支援システム (UNIPA) 及びキャンパスの掲示板にて随時案内しています。

6 長期履修制度について

○長期履修学生制度とは

大学院において、職業を有している等の事情により、2年間の修業年限では履修が困難な学生に対して、当該修業年限を超えて履修することができるよう履修期間を延長する制度

○対象者

- ①フルタイム、パートアルバイト含む有職者（官公庁・企業・自営業等）
- ②育児、介護を行う者
- ③その他やむを得ない事情を有し、修業年限での修了が困難な者

※①②のいずれも修学に支障を及ぼさない範囲の者は除外

○修業年限・在学期間

修業年限は2年、在学年限は4年です。

○授業料

履修期間3年の場合

(1年目)	(2年目)	(3年目)
357,200円	357,200円	357,200円

総額は、授業料年額535,800円×修業年限2年＝1,071,600円と同じ。